

# 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目			<input type="checkbox"/>
科目名	地域の福祉活動			担当講師	大森 泰		
分野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	2年次	学 期	前期
概 要	<p>地域社会の希薄化が言われるようになったが、淡路大震災の後 地域社会つながりの大切さが強調されるようになった。このように地域社会の持つ意味を考え、地域福祉がどのように策定されていくのか、そして、自分たちが生活する地域にはどのような問題があり、どのような地域福祉活動が行われているのかを学ぶ。</p>						
到達目標	<p>1. 地域社会の持つ意味を考えるとともに、人々の地域社会のかかわりについて考える。                  2. 地域集団の現状と課題を理解する。                  3. 地域福祉の実施体制及び実際を理解する。</p>						
回	授 業 計 画 ・ 内 容						学習方法
1	地域社会の変化						講 義
2	人々の地域社会とのかかわり						講 義
3	地域における社会福祉実践の方法（個別援助技術）						講 義
4	地域における社会福祉実践の方法（集団援助技術）						講 義
5	地域における社会福祉実践の方法（関連援助技術）						講 義
6	地域に暮らす高齢者・障害者の生活の場						講 義
7							演 習
8	まとめ・終講試験/解答・解説						講 義
評価方法	客観試験						
教科書	系統別看護学講座 「社会保障・社会福祉」 医学書院						
参考書							
備 考							

# 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目	<input type="checkbox"/>		
科目名	地域とリハビリテーション			担当講師	武藤 久司・稲川 良・松本 典之・ 高堀 雅子		
分野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	2年次	学 期	後期
概 要	地域リハビリテーションの概念を理解し、地域・在宅における医療専門職の役割・現状・課題を理解し、医療専門職に求められる理念と知識、地域におけるチーム医療の重要性を学ぶ。また、地域生活に必要な生活支援や種々の身体機能の評価法、地域リハビリテーションの内容や地域連携パス、関連サービスなどとの関係性について理解を深める。高齢者・障害者にとって地域生活に重要な制度や支援体制、地域包括ケアシステムについて総括的に学習する。						
到達目標	1. 地域リハビリテーションの概念を理解し、地域包括ケアシステムについて理解できる。 2. 地域で生活するために必要な生活支援や身体機能評価の知識を理解して活用できる。 3. 地域における多職種連携およびチーム医療と地域特性に応じた支援体制について理解できる。						

回	授 業 計 画 ・ 内 容	学 習 方 法
1	地域リハビリテーションとノーマライゼーション、国際機能分類ICF	講 義
2	地域リハビリテーションにおける介護保険制度と地域包括ケアシステム	講 義
3	在宅リハビリテーションと地域リハビリテーションとの関連／地域連携パス、終末期リハビリテーション	講 義
4	身体機能評価方法とADL・IADL評価（FIM、パーセルインデックス）	講 義
5	身体機能評価方法と嚥下評価、精神・認知機能評価	講 義
6	身体機能評価方法と高次脳機能障害評価	講 義
7	高齢者・障害者における地域生活支援と多職種連携	講 義
8	まとめ・終講試験/解答・解説	講 義

評価方法	客観試験
教科書	必要に応じて資料を配布
参考書	系統別看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院
備 考	

# 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目	<input type="checkbox"/>		
科目名	公衆衛生			担当講師	酒井 聖子		
分野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	2年次	学 期	後期
概 要	<p>公衆衛生学は生活者の健康の保持・増進を目的に、常に個々の住民の要請を捉えつつ、広く地域に対する政策から実施に向けた活動をするための実践的学問である。本科目では、21世紀の健康社会実現に向けた保健・医療・福祉そして環境総合的な理解を促し、看護職の役割を再認識する。その上で、各看護学領域の公衆衛生活動につなげていく。</p>						
到達目標	<p>1. 国民の健康に関する状況と生活環境との関係を理解する。 2. 生活者の健康増進に対応した法制度及び保健活動について理解する。</p>						

回	授 業 計 画 ・ 内 容	学 習 方 法
1	公衆衛生の理解	講 義
2	人口と公衆衛生	講 義
3	環境と公衆衛生・食と公衆衛生	講 義
4	国民の健康と保健統計	講 義
5	疾病の疫学と予防	講 義
6	公衆衛生活動の実際	講 義
7	保健行政・公衆衛生における課題と展望	講 義
8	まとめ・終講試験/解答・解説	講 義

評価方法	客観試験
教科書	新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 「公衆衛生学」 メヂカルフレンド社「国民衛生の動向」 厚生統計協会
参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度② 「公衆衛生」 医学書院
備 考	

# 2022年度 講義要項（授業計画）

				実務経験のある教員等による授業科目	<input type="checkbox"/>		
科目名	看護と法律			担当講師	小西 知世・長島 光一・横沢 亘		
分野	専門基礎	授業方法	講義	実務経験			
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	2年次	学 期	後期
概 要	人間社会は沢山の法に囲まれ、法によってその生活は成り立っている。看護も多くの法規によって規制され、そして守られている。対象が「人間」である看護においては、対象の権利を守るためにも日常的に法規に立ち戻る必要がある。本科目では、法の世界を理解するとともに、社会生活と法のつながりを学ぶ。そして、医療に関する法規と看護師に必要な法規を学ぶ。						
到達目標	1. 法の世界における基本的な概念・用語・論理の進め方を学ぶ。 2. 人々の健康を守るためのサービス提供機関と従事者の役割・機能に関する基本的な法律について理解する。						

回	授 業 計 画 ・ 内 容	学 習 方 法
1	法の世界	講 義
2	厚生行政のしくみ	講 義
3	看護活動と医療関係法規(1) 保健師・助産師・看護師法	講 義
4	看護活動と医療関係法規(2) 医師法・医療法	講 義
5	看護活動と医療関係法規(3) 医療関係資格法	講 義
6	看護活動と医療関係法規(4) 保健衛生法規	講 義
7	看護活動と医療関係法規(5) 薬務法・労働関係法規	講 義
8	まとめ・終講試験/解答・解説	講 義

評価方法	客観試験
教科書	ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障④「看護をめぐる法と制度」 メディカ出版
参考書	
備 考	